

表 女性の活躍推進（ポジティブ・アクション）に取り組まない理由別事業所数および割合（北九州市、全国）（複数回答）

常用労働者数 30 人以上（民間のみ）の事業所における女性の活躍推進（ポジティブ・アクション）に取り組まない理由は、「男女にかかわりなく人材を育成している」が最も高く、北九州市 48.8%、全国 50.9%。

	本市				国
	回答者全体 n=383		常用労働者数 30人以上 (民間のみ) n=209		常用労働者数 30人以上 (民間のみ)
	事業所数	割合(%)	事業所数	割合(%)	割合(%)
経営者(トップ)の意識が伴わない	17	4.4	14	6.7	5.9
業績に直接反映しない	21	5.5	12	5.7	5.2
男女にかかわりなく人材を育成している	170	44.4	102	48.8	50.9
既に女性は十分に活躍していると思う	116	30.3	65	31.1	23.6
女性の活躍推進(ポジティブ・アクション)の手法がわからない	10	2.6	6	2.9	4.8
コストがかかる	1	0.3	1	0.5	1.5
女性が少ない、あるいは全くいない	105	27.4	58	27.8	29.5
女性の意識が伴わない	40	10.4	28	13.4	21.0
男性からの理解が得られない	5	1.3	2	1.0	1.5
中間管理職や現場監督職の意識が伴わない	9	2.3	5	2.4	4.1
その他	48	12.5	18	8.6	11.8

※国:「平成 25 年度雇用均等基本調査」企業調査

(資料) 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ『北九州市における女性の活躍推進実態調査報告書』(平成 26 年度調査)